

平成14年12月26日宣告 平成14年(わ)第261号,第288号 被告人
Aに対する漁業法違反,北海道海面漁業調整規則違反,船舶安全法違反,船舶職員
法違反,被告人B,被告人C,被告人D,被告人E,被告人F及び被告人Gに対す
る漁業法違反,北海道海面漁業調整規則違反各被告事件

主 文

被告人Aを懲役7か月に,被告人B,被告人D,被告人E,被告人F及び
被告人Gを懲役4か月及び罰金10万円に,被告人Cを懲役3か月に処す
る。

被告人F及び被告人Gに対し,未決勾留日数中各10日を,それぞれその
懲役刑に算入する。

被告人B,被告人D,被告人E,被告人F及び被告人Gにおいてその罰金
を完納することができないときは,それぞれ金5000円を1日に換算し
た期間,その被告人を労役場に留置する。

この裁判が確定した日から,被告人B及び被告人Eに対し3年間その懲役
刑の執行を,被告人Cに対し2年間その刑の執行を,被告人Dに対し4年
間その懲役刑の執行を,それぞれ猶予する。

被告人7名から,別紙没収目録1記載の換価代金を,被告人Aから,同目
録2記載の物件を,被告人Fから,同目録3記載の物件を,被告人Gから,
同目録4記載の物件を,それぞれ没収する。

理 由

(罪となるべき事実)

第1 被告人7名は,共謀の上,いずれもH漁業協同組合員でなく,かつ,漁業権
を有しないのに,平成14年10月17日午後7時ころから同日午後10時3
0分ころまでの間,前記漁業協同組合の第一種共同漁業漁場区域内である北海
道山越郡I町字J a番地のb地先のI港東防波堤灯台から真方位72度,約1
4.4キロメートル付近海域において,北海道知事の許可を受けないで,潜水

器を使用して第一種共同漁業の対象であるえぞばふんうに2803個(約380.55キログラム)、きたむらさきうに4419個(約564.7キログラム)、えぞあわび51個(約7.05キログラム)、つぶ13個(約1.4キログラム)、たこ3尾(約8.05キログラム)及びなまこ63尾(約9.65キログラム)を採捕し、もって、前記漁業協同組合の漁業権を侵害するとともに、無許可で潜水器漁業を営み、さらに前記うに合計7222個については、北海道海面漁業調整規則により採捕が禁止されている期間及びその区域内において採捕した。

第2 被告人Aは、船外機2機(平成14年領第411号の132, 133)付きゴムボート(船名なし、全長約540センチメートル、総トン数約0.7トン。同領号の131)の所有者兼船長であるが、法定の除外事由がないのに、同月18日午前零時15分ころ、同郡I町字Jc番地先海上において、沿岸小型船である同船につき、船舶検査証書又は臨時航行許可証を受有しないで航行の用に供するとともに、乗組み基準に従い4級小型船舶操縦士又はこれより上級の海技免状を受有する海技従事者を同船に乗り組ませず、同資格に係る海技免状を受有していないのに、自ら船長として同船に乗り組んだ。

(法令の適用)

(1) 被告人A

罰 条

第1の行為

漁業権の侵害の点	刑法60条, 漁業法143条1項
潜水器漁業を営んだ点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条 1項1号, 5条26号
採捕が禁止されている期間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条

1 項 1 号 , 3 9 条 1 項

第 2 の行為

船舶検査証書又は臨時航行許可証を受有しないで
船を航行の用に供した点
乗組み基準に従い 4 級小型船舶操縦士又はこれより上級の海技免状を受有する海技従事者を船に
乗り組ませなかった点

船舶安全法 1 8 条 1 項 1 号

船舶職員法 3 0 条の 3 第 1 号 , 1 8 条 1 項 ,
同法施行令 2 条 1 項

同資格に係る海技免状を受有していないのに , 自ら船長として船に乗り組んだ点

船舶職員法 3 1 条 1 号 , 2 1 条 1 項 , 同法施行令 2 条 1 項

科刑上一罪の処理 (観念的競合)

第 1 の罪

刑法 5 4 条 1 項前段 , 1 0 条 (1 罪として刑及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の刑で処断)

第 2 の罪

刑法 5 4 条 1 項前段 , 1 0 条 (1 罪として最も重い船舶安全法違反の罪の刑で処断)

刑種の選択

第 1 , 第 2 の各罪

いずれも懲役刑を選択

併合罪の処理

刑法 4 5 条前段 , 4 7 条本文 , 1 0 条 (重い第 2 の罪の刑に法定の加重)

没 収	北海道海面漁業調整規則 5 5 条 2 項本文（別紙没収目録 1 記載の換価代金及び同目録 2 記載の物件について）
訴 訟 費 用	刑事訴訟法 1 8 1 条 1 項ただし書（不負担）
(2) 被告人 B	
罰 条	
第 1 の行為	
漁 業 権 の 侵 害 の 点	刑法 6 0 条，漁業法 1 4 3 条 1 項
潜水器漁業を営んだ点	刑法 6 0 条，北海道海面漁業調整規則 5 5 条 1 項 1 号，5 条 2 6 号
採捕が禁止されている期間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法 6 0 条，北海道海面漁業調整規則 5 5 条 1 項 1 号，3 9 条 1 項
科刑上一罪の処理（観念的競合）	
第 1 の罪	刑法 5 4 条 1 項前段，1 0 条（1 罪として刑及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の刑で処断）
刑 種 の 選 択	
第 1 の罪	懲役刑及び罰金刑を選択
労 役 場 留 置	刑法 1 8 条（5 0 0 0 円を 1 日に換算）
執 行 猶 予（懲役刑につき）	刑法 2 5 条 1 項
没 収	北海道海面漁業調整規則 5 5 条 2 項本文（別紙没収目録 1 記載の換価代金について）
訴 訟 費 用	刑事訴訟法 1 8 1 条 1 項ただし書（不負担）
(3) 被告人 C	

罰 条

第1の行為

漁業権の侵害の点	刑法60条, 漁業法143条1項
潜水器漁業を営んだ点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条 1項1号, 5条26号
採捕が禁止されている期 間及びその区域内にお いてうにを採捕した点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条 1項1号, 39条1項

科刑上一罪の処理(観念的競合)

第1の罪	刑法54条1項前段, 10条(1罪として刑 及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の 刑で処断)
------	--

刑種の選択

第1の罪	懲役刑を選択
執行猶予	刑法25条1項
没 収	北海道海面漁業調整規則55条2項本文(別 紙没収目録1記載の換価代金について)
訴訟費用	刑事訴訟法181条1項ただし書(不負担)

(4) 被告人D

罰 条

第1の行為

漁業権の侵害の点	刑法60条, 漁業法143条1項
潜水器漁業を営んだ点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条 1項1号, 5条26号
採捕が禁止されている期	

間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法 60 条，北海道海面漁業調整規則 55 条 1 項 1 号，39 条 1 項
科刑上一罪の処理（観念的競合）	
第 1 の罪	刑法 54 条 1 項前段，10 条（1 罪として刑及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の刑で処断）
刑種の選択	
第 1 の罪	懲役刑及び罰金刑を選択
労役場留置	刑法 18 条（5000 円を 1 日に換算）
執行猶予（懲役刑につき）	刑法 25 条 1 項
没収	北海道海面漁業調整規則 55 条 2 項本文（別紙没収目録 1 記載の換価代金について）
訴訟費用	刑事訴訟法 181 条 1 項ただし書（不負担）
(5) 被告人 E	
罰 条	
第 1 の行為	
漁業権の侵害の点	刑法 60 条，漁業法 143 条 1 項
潜水器漁業を営んだ点	刑法 60 条，北海道海面漁業調整規則 55 条 1 項 1 号，5 条 26 号
採捕が禁止されている期間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法 60 条，北海道海面漁業調整規則 55 条 1 項 1 号，39 条 1 項
科刑上一罪の処理（観念的競合）	
第 1 の罪	刑法 54 条 1 項前段，10 条（1 罪として刑

及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の
刑で処断)

刑種の選択

第1の罪	懲役刑及び罰金刑を選択
労役場留置	刑法18条(5000円を1日に換算)
執行猶予(懲役刑につき)	刑法25条1項
没収	北海道海面漁業調整規則55条2項本文(別紙没収目録1記載の換価代金について)
訴訟費用	刑事訴訟法181条1項ただし書(不負担)

(6) 被告人F

罰条

第1の行為

漁業権の侵害の点	刑法60条, 漁業法143条1項
潜水器漁業を営んだ点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条1項1号, 5条26号
採捕が禁止されている期間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法60条, 北海道海面漁業調整規則55条1項1号, 39条1項

科刑上一罪の処理(観念的競合)

第1の罪	刑法54条1項前段, 10条(1罪として刑及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の刑で処断)
------	--

刑種の選択

第1の罪	懲役刑及び罰金刑を選択
未決勾留日数	刑法21条(10日を懲役刑に算入)

労 役 場 留 置	刑法 18 条 (5 0 0 0 円を 1 日に換算)
没 収	北海道海面漁業調整規則 5 5 条 2 項本文 (別紙没収目録 1 記載の換価代金及び同目録 3 記載の物件について)
訴 訟 費 用	刑事訴訟法 1 8 1 条 1 項ただし書 (不負担)
(7) 被告人 G	
罰 条	
第 1 の行為	
漁 業 権 の 侵 害 の 点	刑法 6 0 条 , 漁業法 1 4 3 条 1 項
潜水器漁業を営んだ点	刑法 6 0 条 , 北海道海面漁業調整規則 5 5 条 1 項 1 号 , 5 条 2 6 号
採捕が禁止されている期間及びその区域内においてうにを採捕した点	刑法 6 0 条 , 北海道海面漁業調整規則 5 5 条 1 項 1 号 , 3 9 条 1 項
科刑上一罪の処理 (観念的競合)	
第 1 の罪	刑法 5 4 条 1 項前段 , 1 0 条 (1 罪として刑及び犯情の最も重い潜水器漁業を営んだ罪の刑で処断)
刑 種 の 選 択	
第 1 の罪	懲役刑及び罰金刑を選択
未決勾留日数	刑法 2 1 条 (1 0 日を懲役刑に算入)
労 役 場 留 置	刑法 1 8 条 (5 0 0 0 円を 1 日に換算)
没 収	北海道海面漁業調整規則 5 5 条 2 項本文 (別紙没収目録 1 記載の換価代金及び同目録 4 記載の物件について)

（量刑の理由）

1 事案の概要

本件は，被告人 7 名が，共謀の上，潜水器を使用して，えぞばふんうに，きたむらさきうに，えぞあわび，つぶ，たこ及びなまこを採捕し，もって，漁業協同組合の漁業権を侵害するとともに，無許可で潜水器漁業を営み，さらに，うにについては，北海道海面漁業調整規則により採捕が禁止されている期間及びその区域内においてこれを採捕した事案（第 1 の犯行），被告人 A が，沿岸小型船につき，船舶検査証書又は臨時航行許可証を受有しないで航行の用に供するとともに，船舶職員法上の所定の資格を有する海技従事者を同船に乗り組ませず，同資格を有していないのに，自ら船長として同船に乗り組んだ事案（第 2 の犯行）である。

2 被告人 7 名に共通する情状（第 1 の犯行のみ）

本件密漁は，被告人 A をリーダーとした職業的密漁グループにより敢行されたものであり，密漁に必要な各種道具を揃え，海中に潜ってうに等を採捕する役，海上のゴムボート上にいて密漁物の引き上げ等の手伝いをする役，陸地で見張りをする役と役割分担の上でなされた組織的な犯行であり，その犯行態様は悪質である。被告人らが採捕した海産物は，うに合計 7 2 2 2 個（約 9 4 5 . 2 5 キログラム）など極めて多量であり，本件密漁が漁業関係者に与えた打撃は甚大なものがある。

3 被告人ごとの情状

（1）被告人 A

被告人 A は，生活費や遊興費を得るために，昨年 1 1 月ころから，組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており，本件密漁はその一環として敢行されたものであり，本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。同被告人は，これまで，密漁グループのリーダーとして，密漁の日時場所・対

象を決めて、仲間を集合させて密漁を繰り返してきた。密漁の際には自ら潜り役を担当してきた。密漁後は、採捕した海産物を売却して得た利益を仲間に分配している。同被告人は、本件においても、これまでと同様に犯行の日時場所・対象を決め、仲間を集合させた上、潜り役を担当してうに等を採捕している。してみれば、同被告人の責任は、本件密漁グループの中で最も重大であるといわなければならない。同被告人は、平成4年7月23日に組織的なえぞあわびの密漁（漁業法違反、北海道海面漁業調整規則違反）により、懲役6か月及び罰金10万円、4年間の懲役刑の執行猶予の判決を受けながら、これに懲りることなくまたもや本件犯行に及んでおり、その規範意識の低さにも大きな問題が見られる。第2の犯行については、本件船外機付きゴムボートにつき、何ら検査を受けずに航行の用に供し、また、所定の有資格者を乗り組ませないなど、船舶の航行の危険性について意を払わないその姿勢には強い非難が値する。

他方、被告人Aは、本件各犯行について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていることなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(2) 被告人B

被告人Bは、生活費や遊興費を得るために、昨年11月ころから、被告人Aらとともに、組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており、本件密漁はその一環として敢行されたものであり、本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。本件密漁においては、陸地での見張り役を担当していたが、密漁の成功のためには不可欠な役を担当していたものといえ、犯情は決して芳しくない。

他方、被告人Bは、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていること、20年以上前の古い罰金前科1犯を有するのみで、公判請求を受けるのは今回が初めてであることなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(3) 被告人C

被告人Cは、多額の借金を抱え、その返済に窮する生活を送っていたところ、被告人Dから誘われると、金欲しさから安易に本件密漁に加わっており、その犯行の動機に酌量の余地は乏しい。本件密漁においては、海上にいて密漁物の引き上げ等の手伝いをする役を担当しており、その果たした役割は決して小さなものではない。

他方、被告人Cは、今回初めて密漁に加わったのであって、これまで密漁経験を有していないこと、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていること、平成5年9月6日に速度超過の罪により懲役4か月、2年間の執行猶予の判決を受けたことがあるものの、その他に前科を有していないことなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(4) 被告人D

被告人Dは、小遣い稼ぎのために、本年8月ごろに被告人Aをリーダーとする本件密漁グループに加入し、以後、組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており、本件密漁はその一環として敢行されたものであり、本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。本件密漁においては、海上にいて密漁物の引き上げ等の手伝いをする役を担当しており、その果たした役割は決して小さなものではない。同被告人は、平成4年8月12日に覚せい剤の所持の罪により懲役1年8か月、4年間の執行猶予の判決を受けたことがあるにもかかわらず、またもや違法行為に及んでおり、その規範意識の低さにも問題がある

他方、被告人Dは、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていること、同種前科を有していないことなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(5) 被告人E

被告人Eは、借金の返済に追われる生活の中、手っ取り早く金を得ようと考え、本年7月ごろに被告人Aをリーダーとする本件密漁グループに加入し、以後、組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており、本件密漁はその一環として敢行されたものであり、本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。本件密漁においては、陸地での見張り役を担当していたが、密漁の成功のためには不可欠な役を担当していたものといえ、犯情は決して芳しくない。

他方、被告人Eは、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていること、平成11年3月2日に業務上過失傷害の罪により罰金刑に処せられた前科を有するものの、公判請求を受けるのは今回が初めてであること、父親が同被告人の監督を約束していることなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(6) 被告人F

被告人Fは、生活費や遊興費を得るために、昨年11月ごろから、被告人Aらとともに、組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており、本件密漁はその一環として敢行されたものであり、本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。本件密漁においては、潜り役を担当しており、その果たした役割は極めて重要である。同被告人は、平成9年3月24日に組織的なうに等の密漁（漁業法違反、北海道海面漁業調整規則違反）により、懲役4か月及び罰金10万円、3年間の懲役刑の執行猶予の判決を受けながら、これに懲りることなくまたもや本件犯行に及んでおり、その規範意識の低さにも大きな問題が見られる。

他方、被告人Fは、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていること、前妻が同被告人の監督を約束していることなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

(7) 被告人G

被告人Gは、生活費や借金の返済資金を手っ取り早く稼ぐために、本年6月ころに被告人Aをリーダーとする本件密漁グループに加入し、以後、組織的なうにやあわび等の密漁を反復して行っており、本件密漁はその一環として敢行されたものであり、本件密漁に至る経緯や犯行の動機に酌量の余地は全くない。本件密漁においては、潜り役を担当しており、その果たした役割は極めて重要である。同被告人は、平成9年3月12日に組織的なうに等の密漁（漁業法違反、北海道海面漁業調整規則違反）により、懲役4か月及び罰金10万円、3年間の懲役刑の執行猶予の判決を受けながら、これに懲りることなくまたもや本件犯行に及んでおり、その規範意識の低さにも大きな問題が見られる。

他方、被告人Gは、本件密漁について反省の態度を示していること、社会復帰後は真面目に仕事をする旨述べていることなど、同被告人にとって酌むべき事情も認められる。

4 まとめ

以上の諸事情を総合考慮の上、被告人7名に対し、それぞれ主文のとおりの刑を量定し、今回に限り、被告人B、被告人D及び被告人Eに対しては、その懲役刑の執行を、被告人Cに対しては、その刑の執行を、それぞれ猶予することとした。

（求刑 被告人Aにつき懲役10か月、被告人B、被告人D及び被告人Eにつき懲役4か月及び罰金10万円、被告人Cにつき懲役3か月、被告人F及び被告人Gにつき懲役6か月及び罰金10万円、各被告人から主文記載の換価代金及び物件の没収）

平成14年12月26日

函館地方裁判所刑事部

裁判官 高 橋 康 明

別紙

没収目録（いずれも平成１４年領第４１１号）

１ 日本銀行函館支店に預入中の

- 符号 １ 換価代金１１万４１６５円（えぞばふんうに２８０３個（約３８０．５５キログラム）について）
- 符号 ２ 換価代金５万６４７０円（きたむらさきうに４４１９個（約５６４．７キログラム）について）
- 符号 ３ 換価代金２万８２００円（えぞあわび５１個（約７．０５キログラム）について）
- 符号 ４ 換価代金２１０円（つぶ１３個（約１．４キログラム）について）
- 符号 ５ 換価代金４８３円（たこ３尾（約８．０５キログラム）について）
- 符号 ７ 換価代金９６５円（なまこ６３尾（約９．６５キログラム）について）

２ 函館海上保安部で保管中の

- 符号 ８５ 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号４８４７９，４８４７７）
- 符号 ８６ 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号３４８７８，３４８９５）
- 符号 ８７ 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号３３５０６，３３４５４）
- 符号 １０５ 網袋（青色）
- 符号 １０６ 網袋（青色）
- 符号 １０７ 網袋（青色）

符号 1 0 8 網袋 (赤色)

符号 1 0 9 網袋 (赤色)

符号 1 1 0 網袋 (青色)

符号 1 1 1 網袋 (赤色)

符号 1 1 2 網袋 (赤色)

符号 1 1 3 網袋 (赤色)

符号 1 1 4 網袋 (青色)

符号 1 1 5 網袋 (赤色)

符号 1 1 6 網袋 (青色)

符号 1 1 7 網袋 (赤色)

符号 1 1 8 網袋 (赤色)

符号 1 1 9 網袋 (赤色)

符号 1 2 0 網袋 (赤色)

符号 1 2 1 網袋 (赤色)

符号 1 2 2 網袋 (赤色)

符号 1 2 3 網袋 (青色)

符号 1 2 4 網袋 (赤色)

符号 1 2 5 網袋 (赤色)

符号 1 2 6 網袋 (赤色)

符号 1 2 7 網袋 (赤色)

符号 1 2 8 網袋 (青色)

符号 1 2 9 網袋 (赤色)

符号 1 3 0 網袋 (青色)

符号 1 3 1 ゴムボート (A c h i l l e s 製 , 灰色と黒色のもの , 全長約 5 .
4 メートル , 最大幅約 2 . 3 5 メートル , 舷中央高さ 6 0 センチメ
ートル)

- 符号 1 3 2 船外機（Y A M A H A 製，型式 3 0 D M 6 J 8 L L 6 0 0 3 8 8 X，
識別番号 6 J 8 0 1，頭部にゴムバンドがあるもの）
- 符号 1 3 3 船外機（Y A M A H A 製，銘板なし，識別番号 6 J 8 0 0）
- 符号 1 3 4 オール（グレー色，2 本 1 組のもの）
- 符号 1 3 7 船外機用燃料タンク（赤色プラスチック製，Y A M A H A 製）
- 符号 1 3 8 船外機用燃料タンク（赤色プラスチック製，Y A M A H A 製，取手
に白色ビニールテープが巻いてあるもの）
- 符号 1 5 0 フィン（銀色の塗料が付着しているもの）
- 符号 1 5 2 水中メガネ（方位磁石付きのもの）
- 符号 1 5 4 ウェイトベルト（錘に黒色ビニールテープが巻いてあるもの）
- 符号 1 5 8 潜水用フード（縁どりが無いもの）
- 符号 1 6 0 ゴムボート充気用ホース（緑色のもの）
- 符号 1 7 9 ドライスーツ（黒色，腹部に取り付けてあるファスナーに白地に黒
色螺旋状模様のゴム紐付き）

3 函館海上保安部で保管中の

- 符号 8 3 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号 4 8 4 8 1，4
8 4 7 6）
- 符号 8 4 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号 6 1 7 1 8，6
1 7 1 4）
- 符号 1 4 9 フィン（金具に白色テープが取り付けられているもの）
- 符号 1 5 5 ウェイトベルト（錘に黒色と黄色のビニールテープが巻いてあるも
の）
- 符号 1 8 0 ドライスーツ（黒色，腹部に取り付けてあるファスナーに白地に黒
色螺旋状模様のゴム紐付き，右足甲に修理痕あり）

4 函館海上保安部で保管中の

符号 1 3 5 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号 6 1 7 3 5，6
1 6 4 5）

符号 1 3 6 潜水用ダブルボンベ（黒色ベルト付き，タンク番号 3 4 8 9 7，3
4 8 7 6）

符号 1 4 6 フィン（aqua-lung と記載のあるもの）

符号 1 5 3 アンクルウェイト

符号 1 5 6 ウェイトベルト

符号 1 5 7 潜水用フード（縁どりがあるもの）

符号 1 8 1 ドライスーツ（黒色，両足端部欠損）